

【熊本県教育委員会】＜成果イメージ＞ 日本語指導推進事業

現状・課題

＜県全体の状況＞

- 日本語指導を必要とする児童生徒は増加傾向
- TSMCの従業員の子供の来熊に伴い、更に増加の予想
- 地元の公立学校に通わせたいという希望も一定数ある

＜受入拠点校＞

- 菊陽町立武蔵ヶ丘小、菊陽町立武蔵ヶ丘中、県立高校（１校）
- 県立特別支援学校（１校）

＜課題＞

- 日本語指導を必要とする児童生徒の受入や支援体制について市町村によって差が見られる。また、日本語指導の指導者が不足している。
- TSMC駐在員の子女を含め、日本語指導を必要とする児童生徒への支援体制の充実を県全体で図っていく必要がある。

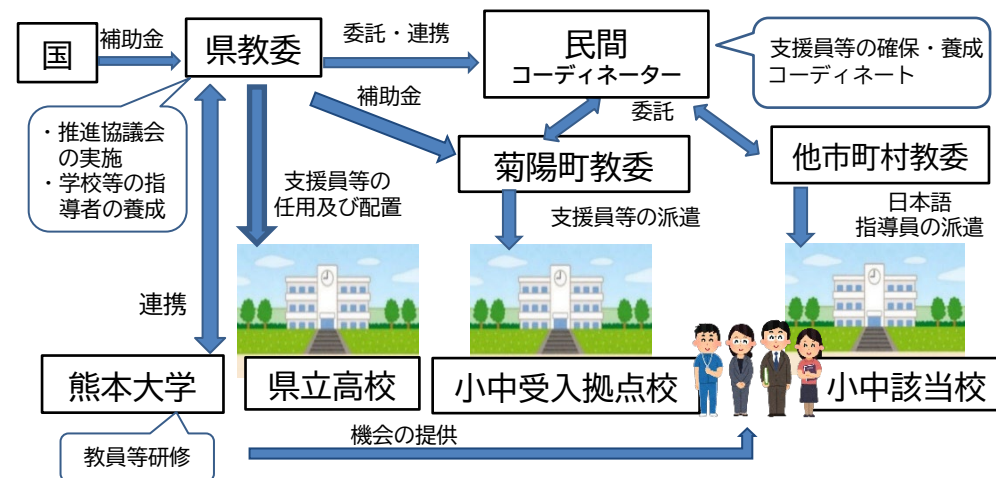
事業概要

○事業内容：

- (1) 日本語指導指導者養成事業
日本語指導ができる人材の育成
- (2) 日本語指導支援員等派遣事業
日本語指導員等の任用に対する菊陽町への補助
- (3) 日本語指導コーディネート事業
指導員等の人材確保及び養成を民間に委託
- (4) 県立高校への通訳・教育支援員の任用及び配置

○事業主体：県

○事業期間：令和６年度



成果

- 日本語指導ができる人材を育成が促進され、県内の各地域で：日本語指導や支援ができる体制が整ってきた。
- 日本語指導が必要な児童生徒に適切な教育の機会を提供すると同時にTSMCの従業員の子供に対する支援を行うことで充実した学習機会を保障することができた。